

< ◇ > ◆◇カエル！ジャパン通信 Vol.73◆◇

2015 年 10 月 30 日 発行

10 月は、高年齢者雇用促進月間。超高齢社会の日本が、経済の活力を維持していくためには、高年齢者の活躍が重要な課題であることから平成 14 年からスタートしました。今回のコラムでは、高齢化率 51%の小さな町でありながら、お年寄りが IT 機器を駆使して生き生きと働く株式会社いろどりの事例を紹介します。「居場所と出番さえあれば、お年寄りも生涯現役で働ける」と、代表取締役の横石知二氏。サプリや健康食品よりも効果がありそうです。

----[目次]-----

◇【コラム】高齡者がいきいきと働ける会社

株式会社いろどり／代表取締役 横石知二氏

◇【取り組み事例紹介】

女性が働き続けるためのアイデアを募集！

～Google「Women Will」

◇【最新情報】

《お知らせ》 「イクメン企業アワード 2015」・「イクボスアワード 2015」の受賞企業などを決定【厚生労働省】

新入社員の皆さんが知っておくべき『これってあり？まんが 知って役立つ労働法 Q&A』をご活用ください【厚生労働省】 他

《地方公共団体の動き》ぐんま女性活躍大応援団～登録団体募集中！【群馬県】
他

《イベント》「多様な正社員制度」に関する普及啓発セミナーの開催について
【主催：北海道】他

《統計・調査トピックス》「統計で見る都道府県のすがた 2015ー山形県の全国トップ5ー」【山形県】他

□

■ 【コラム】高齡者がいきいきと働ける会社

株式会社いろどり／代表取締役 横石知二氏

いまの日本の課題といえば膨大にふくらむ社会保障費をどうやって賄うかだ。消費税を10%にして国民の負担を多くするしか方法がないと言われるが、果たしてそうだろうか。もっと根本的に解決する方法があるのではないかと私は思う。それは、高齢者がいきいきと働ける場をつくることである。

徳島県の山奥にある上勝町は、人口が1709人。高齢化比率が51%の町である。ところが、多くのお年寄りが葉っぱを全国の料亭等に出荷し最近ではタブレット端末を使って受発注をするなど大活躍をしている。世間一般では高齢者は弱者として扱われるが、まったくそうではない。昔からの知識があり経験が豊富でねばり強さがあり、コツコツと仕事をするに関しては、若者顔負けと言われるくらい強くてたくましい人達なのである。

それが日本の現実は、どうだろうか、全国各地に老人福祉施設が建設され、何もすることがない高齢者が入居し、瞬く間に元気を失ってしまう構造になってしまっていることがとても残念でならない。

年末にこんなことがあった。いろどりをしている90歳のおばあちゃんが、ふきのとうを採りに行って大ケガをして足の付け根の部分骨折してしまった。お医者さんから、手術をしても、復帰できることはないと言われ手術後に福祉施設に入る準備をしていた。お世話になっていたので、お見舞いに行き「まだまだあきらめたらあかんでよ。もう一回やってみようよ」と励まし、やる気に火をつけてみた。なんと3月末には、また葉っぱの出荷を再開することができたのである。

「病は気から」という言い伝えがある。高齢者の居場所と出番をつくれば、まだまだみんな元気になる。そして生涯現役で稼ぐ仕組みをつくるのが大切だ。今の介護を決して否定はしない。介護施設の横に高齢者を元気にする産業福祉施設があればいいなと思ってやまない。

⇒ 株式会社いろどり <http://www.irodori.co.jp>



■ 【取り組み事例紹介】

女性が働き続けるためのアイデアを募集！

～Google「Women Will」

Googleは2014年10月10日、日本の女性の社会進出を支援するプロジェクト「Women Will」を立ち上げた。「Women Will」では、出産などを機にさまざ

まな理由で女性が仕事をやめてしまう状況を改善するため、「女性が働きやすくなる」アイデアを web サイトで募集している。「Women Will」のサイトを覗いてみると、一般ユーザーが投稿した、「在宅勤務が普通にできる会社に！」「帰社時の『すみません』禁止」「子どもの行事にはイベント休暇を」などのアイデアが公開されている。閲覧者は「応援する」ボタンをクリックすることで賛同の意思表示ができる。たくさんの応援が集まったアイデアに、サポーター企業が実際に取り組み、その実践事例を紹介するという仕組みだ。現在 70 社を超える企業がこのプロジェクトに参加している。すぐに実践できそうなアイデアもあるが、在宅勤務のように、社内の環境や制度改革を必要とするものもある。企業の実態に合わせて、できることからでも導入が進んでいくことを期待したい。

⇒ 「Women Will」 <https://www.womenwill.com/japan/>



■ 【最新情報】

---<<お知らせ>>-----

● 「イクメン企業アワード 2015」・「イクボスアワード 2015」の受賞企業などを決定【厚生労働省】（2015 年 10 月）

「イクメン企業アワード」は、男性の仕事と育児の両立を積極的に促進し、業務改善を図る企業を表彰するもので、3 回目となる今回は、グランプリに社会福祉法人桔梗会、大同生命保険株式会社の 2 社、特別奨励賞に 3 社を選定しました。

一方、今回が 2 回目となる「イクボスアワード」は、部下の仕事と育児の両立を支援する管理職＝「イクボス」を企業などからの推薦によって募集し、表彰するもので、グランプリ 3 名、特別奨励賞 2 名を選定しました。

受賞者の取組等をまとめた「イクメン企業アワード取組事例集」「イクボスインタビュー集」は、イクメンプロジェクト公式サイトからダウンロードができます。

⇒ <http://ikumen-project.jp/index.html>

● 新入社員の皆さんを対象に、就職して働き始める前に知っておくべき労働に関する基本的なルールをまとめたハンドブック『これってあり？まんが 知って役立つ労働法 Q&A』をご活用ください【厚生労働省】

働くときに最低限知っておいてほしい基本的なルールを分かりやすくまとめたハンドブックを作成しています。困ったときの相談窓口もわかるようになっています。

幅広く利用できるよう、ホームページに掲載し、どなたでも自由にダウンロードして使える形で提供していますので、企業の内定式の時期を迎えているこの機会に、ぜひとも本資料をご活用いただき、新入社員の皆さんの労働に関する理解の促進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』と併せて読んでいただくと、より一層労働法についての理解が深まりますので、こちらもご活用ください。

⇒ (『これってあり？まんが 知って役立つ労働法 Q&A』)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/mangaroudouhou/>

(『知って役立つ労働法～働くときに必要な基礎知識～』)

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouzenpan/roudouhou/index.html

●公共調達におけるワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く評価する枠組みについて【内閣府】(2015年10月)

10月9日に「第35回仕事と生活の調和連携推進・評価部会」が開催され、公共調達においてワーク・ライフ・バランス等を推進する企業をより幅広く評価する枠組みについて議論を行いました。

今回は、有識者の阿部委員(中央大学経済学部教授)のプレゼンテーションや、ワーク・ライフ・バランス等を推進する3社(パシフィックコンサルタンツ、大成建設、サイボウズ)から取組等をお話いただくとともに、議論のたたき台を基に評価の枠組み等について議論を行いました。

今後、年内を目途に、報告書のとりまとめを目指します。

⇒ http://www.cao.go.jp/wlb/government/top/hyouka/k_35/index.html

---<<地方公共団体の動き>>-----

●ぐんま女性活躍大応援団～登録団体募集中！【群馬県】(2015年10月)

「女性が希望に応じ持てる能力を発揮し、あらゆる分野において活躍できる社会」の実現に向け、すべての女性の活躍を地域ぐるみで応援するため、女性活

躍応援の趣旨に賛同する、地域のあらゆる分野団体や企業を登録団体とする「ぐんま女性活躍大応援団」を組織します。

「ぐんま女性活躍大応援団」登録団体の皆さまから寄せられた女性応援メッセージを県ホームページ等で広く発信し、女性活躍の気運を醸成していきますので、ぜひご登録いただき、ぐんまの女性が一步を踏み出す後押しとなる声をお届けください。

⇒ <http://www.pref.gunma.jp/04/c2200136.html>

●第2回「ファザー・オブ・ザ・イヤーin みえ」受賞者が決定！【三重県】(2015年10月)

男性の育児参画を推進する「みえの育児男子プロジェクト」では、平成27年6月1日から8月31日までの期間、ステキな育児をしている男性や、育ジイ、イクボスなどを表彰する、第2回「ファザー・オブ・ザ・イヤーin みえ」の募集を行いました。

応募総数418件の中から、子育て中の母親等で構成する審査委員による選考の結果、「ステキな育児(取組)をしている！」として、より多くの共感を得られた男性や団体等を、下記のとおり大賞及び部門賞受賞者として決定しました。

⇒ <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2015090442.htm>

---《イベント》-----

▼男性にとっての男女共同参画シンポジウム参加者募集！【内閣府】(2015年10月)

内閣府では、男性にとっての男女共同参画シンポジウムとして、「かがやこう！サルサで楽しむ★男性の家事・育児など」と題したシンポジウムを実施します。

NPO 法人全日本育児普及協会の佐藤士文氏を講師に迎え、男性が家事・育児などに参画することで得られる充実感や取組の重要性について、ワーク・ライフ・バランスやベビーサルサなどの話題・実技を交えてお伝えします。

楽しくかつ参考になる内容ですので、奮ってご参加ください！

なお、本シンポジウムは、NPO 法人ファザーリング・ジャパン主催「ファザーリング全国フォーラム in とやま」における内閣府主催分科会として実施するものです。

日時：11月7日(土)13:30～15:00

場所：富山県民共生センター サンフォルテ（富山駅北口より徒歩約10分）

参加費：無料（事前申込制※定員に余裕があれば当日参加も可能です。）

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://fathering-toyama.net/bunkakail2/>

▼「多様な正社員制度」に関する普及啓発セミナーの開催について【主催：北海道】（2015年10月）

北海道では、いわゆる地域限定正社員や短時間正社員など「多様な正社員制度」の導入による非正規労働者の正社員転換等を促進するため、企業の皆様を対象に、10月23日から11月13日まで道内6箇所で開催します。

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/rkr/rsf/h27hiseikisemina.htm>

▼「女性の起業応援セミナー」を開催します！【主催：秋田県】（2015年10月）

女性がチャレンジし個性と能力を活かして活躍する場の拡大促進を目的に、起業に目を向け本格的に取り組を進めるきっかけづくりとして、「女性の起業応援セミナー」を開催します。

第1部では、トータルサポートスクール リード学舎 代表 阿部浩美氏 を講師として、先輩女性起業家の体験談や事業アイデアの発見方法、アイデアを具体化するためのヒントなどをご講演いただきます。第2部では、県内の起業・創業支援団体から利用できる支援制度についてご紹介いただきます。また、第2部終了後には個別相談会（希望者のみ）を行います。

起業したいとお考えの方はもちろん、好きなこと・得意なことを仕事にしたい、自分らしい働き方をしたいとお考えの方は、是非ご参加ください！

★【受講料・託児】 無料 （※託児要予約）

★雇用保険受給者については、本セミナー受講で1回の求職活動にカウントされます。

【日 時】 平成 27 年 11 月 5 日（木） 13：30～16：30

【会 場】 ルポールみずほ（秋田市山王 4-2-12 2）

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1443577445816/index.html>

▼いばらき女性いきいき就職面接会【主催：茨城県】（2015 年 9 月）

女性の一層の活躍や再就職の促進と、県内企業の人材確保を主な目的として、「いばらき女性いきいき就職面接会」を開催します。

【土浦会場】平成 27 年 11 月 27 日（金曜日）

会場 ホテルグリーンコア土浦（土浦市港町 1-8-26）

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.ibaraki.jp/shokorodo/rosei/rodo/ikiiki/index.html>

▼「若い力で企業を元気に！」～若手・中堅社員のためのリーダーシップ&コミュニケーションスキル養成講座～を開催します。【主催：栃木県】（2015 年 10 月）

栃木県では、若年者等の職場定着や中堅社員のスキルアップを図り、県内中小・小規模事業者様の経営力向上を目指すため『元気な若手社員等育成支援事業』を業務委託により実施しています。

本年度は、皆さまからいただいた御意見をもとに構築した研修テーマで、県内 3 カ所を会場に研修を開催いたします。受講料は無料です。

宇都宮会場：第 1 回 11 月 2 日、第 2 回 11 月 25 日

いずれも 9：30～17：00

大田原会場：第 1 回 11 月 4 日、第 2 回 11 月 24 日

いずれも 9：30～17：00

足利会場：第 1 回 11 月 6 日、第 2 回 11 月 30 日

いずれも 9：30～17：00

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ http://www.pref.tochigi.lg.jp/f03/genki_wakate.html

▼「男性のための介護セミナー」参加者募集！【主催：群馬県】（2015年10月）

介護は突然やってくる。群馬県では、年間約2,200人が介護を理由に仕事を辞めています。「介護が始まったときにすべきことは？」「いまから準備しておくことは？」など、その時に役立つ、具体的なノウハウをお伝えします。

日時：平成27年11月13日（金）19時00分～20時30分

※お仕事帰りでオッケーです！

会場：ぐんま男女共同参画センター（前橋市大手町1-13-12）

申込方法等詳細は下記URLを参照してください。

⇒ <http://www.pref.gunma.jp/04/p03100096.html>

▼平成27年度東京ウィメンズプラザフォーラム【主催：東京ウィメンズプラザ】（2015年10月）

東京ウィメンズプラザでは、男女平等参画社会の実現に向け、都民や民間団体が、様々なイベントを通して交流を深める「東京ウィメンズプラザフォーラム」を開催します。

日時：平成27年11月6日（金）・7日（土） 9:00～21:00

場所：東京ウィメンズプラザ（渋谷区神宮前五丁目53番67号）

内容：

民間36団体によるワークショップ等、東京都・東京経営者協会シンポジウム「女性が活躍できる社会へ～女性リーダーの育て方～」、東京ウィメンズプラザ主催イベント「パパと思いっきり遊ぶ日！」、都・区市町村の男女平等参画センター等活動紹介

申込方法等詳細は下記URLを参照してください。

⇒

<http://www1.tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp/seminar/tabid/209/Default.aspx>

▼もっと暮らしを楽しむための男の生き方セミナー【主催：神奈川県】（2015

年 10 月)

「人生再設計のススメ～会社人間から生活人間へ～」

毎日、仕事に走り続けている・走り続けてきた男性の皆さん。60歳で定年退職した場合、定年後の人生の長さ（余暇時間・自由時間）は、それまでの労働時間とほぼ同じ8万時間とされています。ここで少し立ち止まって、これからの暮らしをもっと楽しむための新たな人生の設計図について考えてみませんか。

日時：平成 27 年 11 月 28 日（土曜日） 13：30 から 15：30 まで

講師：吉田 清彦 氏（フリーライター、シニアライフ・プランナー）

場所：湯河原町立図書館 3 階 集会室（足柄下郡湯河原町土肥 1-4-13）

参加費：無料 定員 80 名

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f41207/p964603.html>

▼女性活躍新法対応！！「経営戦略としての女性活躍推進セミナー」を開催【主催：福井県】（2015 年 9 月）

企業における女性活躍の重要性とその方策および県や国の支援制度について理解を深めるためにセミナーを開催します。企業経営者、人事担当者必聴！是非、ご参加ください。（無料 先着 200 名）

日時：平成 27 年 11 月 4 日(水) 13：30～15：30〔開場 13：00〕

会場：福井商工会議所 コンベンションホール

参加対象：企業経営者、人事担当者

内容：

(1)基調講演

「企業における女性活躍の課題とポジティブ・アクションー女性活躍推進法を踏まえてー」 講師：矢島 洋子氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社・女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室 室長）

(2)支援施策の説明

○女性活躍推進に係る福井県の施策について：県女性活躍推進課

○事業主が作成する行動計画のポイントと国の支援制度について：福井労働局

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.fukui.jp/doc/joseikatuyaku/ibentosemina-.html>

▼女性のための起業セミナー特別講演【主催：奈良県】（2015年9月）

（株）日本旅行のカリスマ添乗員平田進也氏が、圧倒的人気の旅行企画力を背景に、「奈良の魅力」×「女性の感性」でビジネスを作っていく方法論を語ります！！観光関連で起業したい、している女性のみなさま、ご参加をお待ちしております。

日時：2015年11月5日（木）14：00～15：15

場所：奈良県文化会館

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.nara.jp/item/145476.htm#moduleid20612>

▼女性創業支援研修「創業塾 中・上級 Step up コース」受講者募集！【主催：岡山県】（2015年10月）

日時：平成27年11月24日、12月8日、12月22日、
平成28年1月12日、1月26日 13：00～17：00

場所：岡山県男女共同参画推進センター（ウィズセンター）会議室
（岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ6階）

対象：創業を計画中の女性、女性起業家

定員：15名（先着順）

参加料：無料 託児サービスあり（要申込・無料）

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/438670.html>

▼「女性のエンパワーメントを語ろう」【主催：岡山県】（2015年10月）

日本が女性差別撤廃条約を批准して30年の月日が流れた今、女性たちはどれだけ一人ひとりエンパワーしてきたのでしょうか？ 山下泰子さんを講師に招き、国際女性の地位の活動を通して見えてきた女性たちの歩みを熱く語り合います。

参加費は無料。先着 50 名まで。託児あり(定員あり:無料)

日時：平成 27 年 11 月 20 日（金曜日）

内容：講演 13：30～15：00

意見交換会 15：15～16：30

場所：きらめきプラザ 4 階 401 会議室（岡山市北区南方 2 丁目 13-1）

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.okayama.jp/page/441682.html>

▼「輝く女性応援フェスティバル」開催【主催：徳島県】（2015 年 10 月）

徳島県では、昨年度の「女性活躍元年」からの機運の高まりをさらに加速し、県民の皆様の意識改革につなげるため、「輝く女性応援フェスティバル」を開催します。フェスティバルでは、様々な課題をテーマとした講演会やセミナーなどを開催します。ぜひ、ご参加ください。

期日：平成 27 年 11 月 6 日（金）～9 日（月）

場所：ときわプラザ（男女共同参画交流センター）2 階

徳島市山城町東浜傍 1（アスティとくしま内）

入場無料 ※無料託児あります。事前申込制（1 歳から就学前まで）。

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.tokushima.jp/docs/2015091500122/>

▼男性の家事・育児実践塾「パパのパパッとごはん」【主催：福岡県】（2015 年 10 月）

男性の子育てを応援するため、その日からすぐに実践できる家事・育児のコツを学ぶ実践塾（2 回連続講座）を県内 4 地域で開催します。

テーマは日常生活に欠かせない「食」をとりあげ、1 回目は「イクメン・カジダン」は食事から～ごはんづくりの極意～と題して、何をどれくらい食べさせたらいいのかの基本を学びます。2 回目は「作ってみよう！パパッとパパごはん」と題して、料理初心者パパでも手早く作れるメニューで調理実習を行います。

開催期間：2015年10月17日～2015年11月29日

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/event-info/papagohan.html>

▼公開講座「これからのリーダーに必要なものとは」【主催：熊本県】（2015年10月）

女性初、かつ最年少の26歳で海上保安庁巡視艇「まつなみ」の船長となり、現在は大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授として公共経営や意思決定等を研究されている永田潤子さんの講演会です。現場のリーダーとしての経験をベースに、研究者としての視点を交えながら、「組織をまとめ、現場を活性化していく力」＝「リーダーシップ」について、分かりやすくお話しいただきます。定員100名(先着順)

時期：11月27日（金）14：00～16：00

場所：くまもと県民交流館パレア 10F パレアホール

申込方法等詳細は下記 URL を参照してください。

⇒ <http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/2900.html>



■ 【統計・調査トピックス】

◆平成26年版働く女性の実情 公開しました【厚生労働省】（2015年10月）

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒ <http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/14.html>

◆平成26年人口動態統計（確定数）の概要【宮城県】（2015年9月）

出生数は18,069人で、前年の18,949人より880人減少しました。また出生率（人口千対）は7.8で、前年の8.2を0.4下回りました。なお、合計特殊出生率は1.30で前年の1.34を0.04下回りました。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/toukei/h26kakutei-.html>

◆「統計で見る都道府県のすがた 2015ー山形県の全国トップ5ー」【山形県】
(2015年9月)

総務省統計局では、人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、文化・スポーツ、居住、健康・医療、福祉・社会保障、安全、家計など国民生活全般の実態を示す代表的な指標約450を選定し、都道府県順位を付して「統計で見る都道府県のすがた」としてまとめ、毎年公表しています。

「山形県の全国トップ5」は、その中から、本県の上位5位までの指標を抜き出し、県民の皆様に統計に親しんでいただくため、また、本県の特徴を把握し、山形県への理解を深めていただく一助になればと、編集しました。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kikakushinko/020052/tokei/yamagatatokeiranking.html>

◆平成26年愛知県の人口動態統計(確定数)の概況【愛知県】(2015年10月)

厚生労働省は、9月3日に全国の「平成26年人口動態統計(確定数)の概況」を発表したところですが、このたび、愛知県分(名古屋市含む)の概況を取りまとめました。出生数は、65,218人(対前年1,607人減少)、死亡数は、62,426人(対前年31人増加)、自然増減数(出生数－死亡数)は、2,792人(対前年1,638人減少)でした。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒ <http://www.pref.aichi.jp/0000087243.html>

◆『鳥取県の経済動向』平成27年10月号 公開しました【鳥取県】(2015年10月)

平成27年7月～8月の主要指標をもとに、基調判断と、分野別動向(消費、投資、生産、雇用)を公開しています。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒ http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/997447/toe_201510.pdf

◆みやぎきの人口早わかり：3-3 自然動態 公開しました【宮崎県】（2015 年 9 月）

1.婚姻件数（率）・離婚件数（率）の推移、2.年齢別未婚率の推移、3.平均初婚年齢の推移、4.合計特殊出生率の推移、5.平均寿命の推移 を公開しました。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/tokeichosa/kense/toke/dotai_shizen.html

◆平成 27 年 8 月の観光客の動向を公開しました【鹿児島県】（2015 年 9 月）

平成 27 年 8 月における調査対象ホテル・旅館 82 施設の宿泊客数（宿泊延べ人員）は、合計 328,552 人で、前年同月比 3.2%減となりました。このうち外国人は、6,875 人で前年同月比 29.7%増となりました。平成 27 年 8 月における調査対象観光施設・ドライブイン 23 施設の入場・来場者数（延べ人員）は、合計 597,956 人で、前年同月比 11.6%減となりました。

詳細は、下記 web サイトをご覧ください。

⇒

http://www.pref.kagoshima.jp/af08/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/doukou/documents/45728_20150930091503-1.pdf

●このメールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

配信中止・配信先変更は、こちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/tetsuzuki.html> 12

バックナンバーはこちらから

<http://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

□このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

□内閣府仕事と生活の調和推進室ホームページはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/>

《編集後記》10月7日、安倍内閣が、新たな目標として「一億総活躍社会」の実現を発表した。GDP(国内総生産)600兆円、希望出生率1.8、介護離職ゼロの3つを掲げ、誰もが活躍できる社会を目指している。そのためには、女性の働きやすい社会の実現や、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティの推進も不可欠。年内の早いうちに具体的な対策が発表されるとのことだが、これまで活躍したくてもできなかった人たちに朗報となるか。今後の動きに注目したい。
